

オリンピック・パラリンピック教育

実践事例集



令和3年3月
福岡県教育委員会

はじめに

令和元年(2019年)は、ラグビーワールドカップが日本で開催されました。日本代表が、「ワンチーム」という言葉とともに日本中に感動を届け、大きな話題となりました。これまで運動やスポーツに興味がなかった人でも、ラグビーのもつ特有の魅力を知ることができたのではないのでしょうか。

令和3年(2021年)は、新型コロナウイルス感染症の影響により延期された「東京2020オリンピック・パラリンピック(この後は、オリ・パラと言います。)競技大会」が開催される予定です。世界中の国や地域から様々なスポーツの選手が一堂に会して競い合う、世界最大のスポーツの祭典である本大会は、ラグビーワールドカップ同様、私たちに必ず大きな感動を与えてくれることでしょう。さらに、本大会は、史上初の大会延期を乗り越えた大会として、間違いなく世界中の人々の心に残る大会となることでしょう。

このような貴重な機会を学校教育の場に活用する「オリ・パラ教育」は、大きな教育効果が期待でき、大変意義深い教育であると考えています。

そこで、スポーツ庁では、平成27年度から「オリ・パラ教育」を推進するため、筑波大学と国内の3地域(宮城県、京都府、福岡県)への委託事業を開始し、全国へ展開してきました。6年目にあたる本年度は、筑波大学、早稲田大学、日本体育大学、全国45地域(1道・1府・32 県・11 指定都市)へ広がっています。

福岡県教育委員会は、平成27年度からの6年間で77推進校(30小学校・31中学校・10高等学校・6特別支援学校)に「オリ・パラ」という素材をこれまでの教育活動に取り入れた「オリ・パラ教育」に取り組んでいただきました。推進校からは、これらの実践を通して「運動やスポーツに対する興味・関心が高まった」「よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育てることができた」「多様さを認め、他者を尊重する態度を育てることができた」等、様々な成果が報告されました。

そこで、このたび、まだ実践されていない学校が「オリ・パラ教育」に取り組むことができるよう、また既に実践されている学校が「オリ・パラ教育」を更に充実できるよう、「オリ・パラ教育」の基本的な考え方について示すとともに、これまでの実践をまとめ掲載することとしました。

是非、本書を御活用いただき、各学校における「オリ・パラ教育」を充実させていただくとともに、大会後も継続的に推進していただくようお願いいたします。

末尾となりましたが、御協力いただいた推進校の皆様をはじめ、関係各位に厚く御礼申し上げます。

福岡県教育委員会

オリンピック・パラリンピック教育 実践事例集

目次

- はじめに

理論編

- **オリンピック・パラリンピック教育の基本的な考え方**… 1
 - 1 **オリンピック・パラリンピック教育とは** …… 2
 - 2 **オリ・パラ教育の5つのテーマとは** …… 3
 - 3 **オリ・パラ教育で目指す子供の姿** …… 7
 - 4 **オリ・パラ教育に取り組む教科領域等** …… 8

実践編

- **[実践事例 1]** …… 9
- **[実践事例 2]** …… 10

- [実践事例 3] 11
- [実践事例 4] 12
- [実践事例 5] 13
- [実践事例 6] 14
- [実践事例 7] 15
- [実践事例 8] 16
- [実践事例 9] 17
- [実践事例 10] 18
- [実践事例 11] 19
- [その他の実践] 20



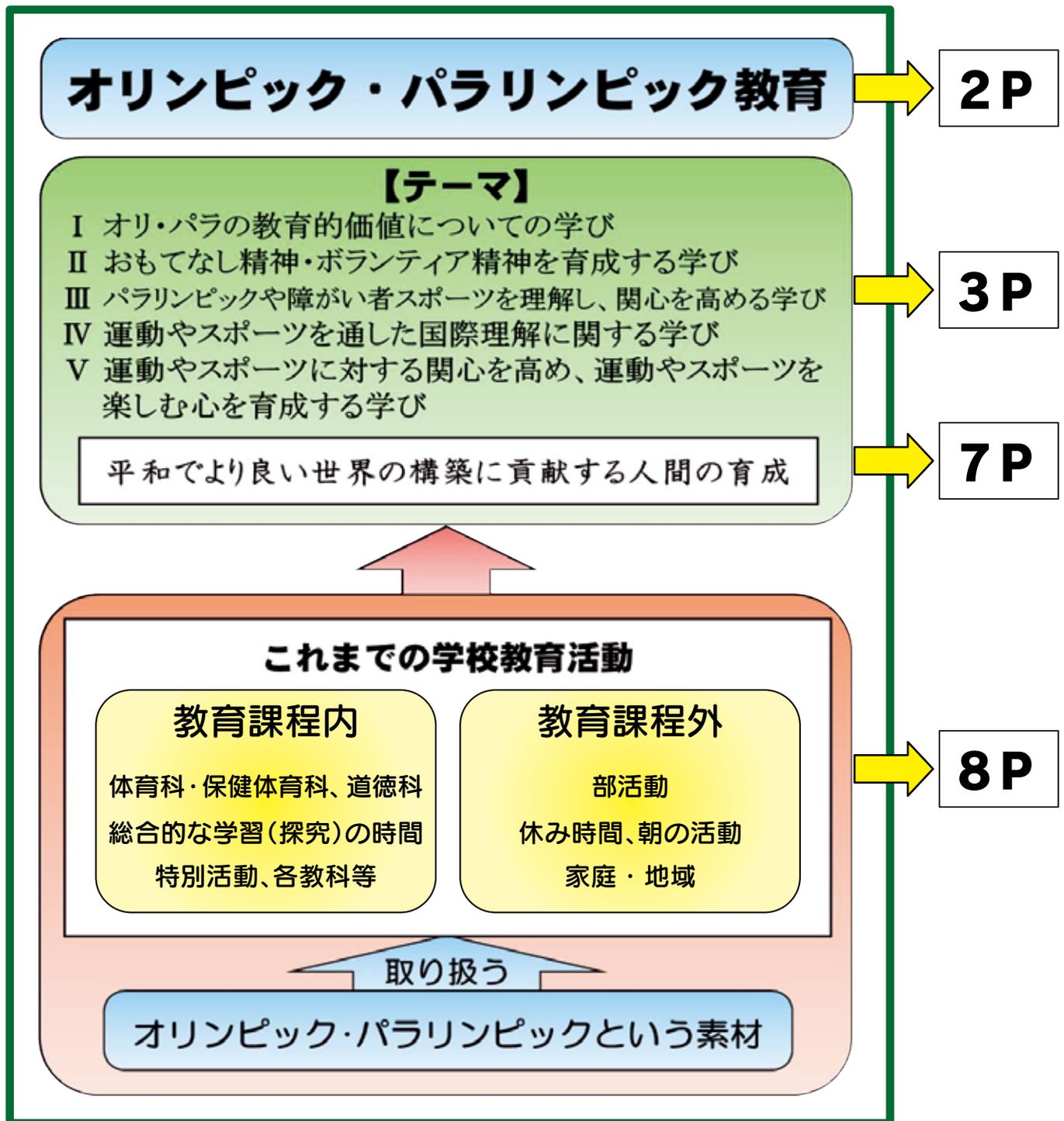
- 参考資料 21
- 福岡県推進校一覧 23



[理論編]

オリンピック・パラリンピック教育の基本的な考え方

次の図は、オリンピック・パラリンピック（「オリ・パラ」と言います。）教育について簡単に示したものです。2ページ以降には、それぞれについて説明をします。



具体的事例については、実践編（9P～）をご覧ください。

1 オリンピック・パラリンピック教育とは

オリンピック・パラリンピック教育は、運動やスポーツを通して、知・徳・体の調和の取れた子供を育成することを目指した教育を指します。

オリ・パラ大会の究極の目標である「平和でより良い世界の構築に貢献する」人間を育成することと、教育基本法及び学校教育法にある教育の目的及び目標には重なる部分があります。

学校において、現在行っている日々の教育活動に、オリ・パラという素材を題材として取り扱うことにより、「これからの社会に求められる資質・能力等の育成」や「スポーツの意義や価値等に対する理解・関心の向上」等を図ることができる教育です。



具体的な内容は、「オリ・パラそのものについての学び」と「オリ・パラを通じた学び」から構成されます。例えば、チャレンジや努力を尊ぶ態度、ルールの尊重やフェアプレイの精神、他者の尊重や自己実現、運動やスポーツに対する関心の向上等を育成することがねらいとなります。

体育科・保健体育科の時間はもとより、道徳科、特別活動、各教科、総合的な学習（探究）の時間などにおいてもそれぞれの特質に応じて行うことができます。



【ポイント】

新たな取組を始めるのではなく、日々の様々な教育活動にオリ・パラを関連付ける

2 オリ・パラ教育の5つのテーマとは

【Ⅰ】オリ・パラの教育的価値

スポーツ及びオリンピック・パラリンピックの意義（努力の喜び・フェアプレイ・他者への尊敬・卓越性の追求・バランスのとれた身徳知）に関する学び

【Ⅱ】おもてなし精神・ボランティア精神

おもてなし精神を備えた大会及び都市ボランティア等の養成を促進するための教育

【Ⅲ】パラリンピックや障がい者スポーツ

パラリンピックや障がい者スポーツへの関心を高めるための教育

【Ⅳ】国際理解

日本文化や地域・郷土の文化への関心を高め、スポーツを通じた異文化・国際理解を促進するための教育

【Ⅴ】運動やスポーツを楽しむ心

スポーツを楽しむ心を醸成するための教育

【Ⅰ】オリ・パラの教育的価値について

オリンピックには、オリンピックの精神（オリンピズム【※注釈1】）というのがあります。例えば、「努力の喜び」「向上心」「フェアプレイ精神」「他者への尊敬」「友情」等の教育的価値が含まれています。

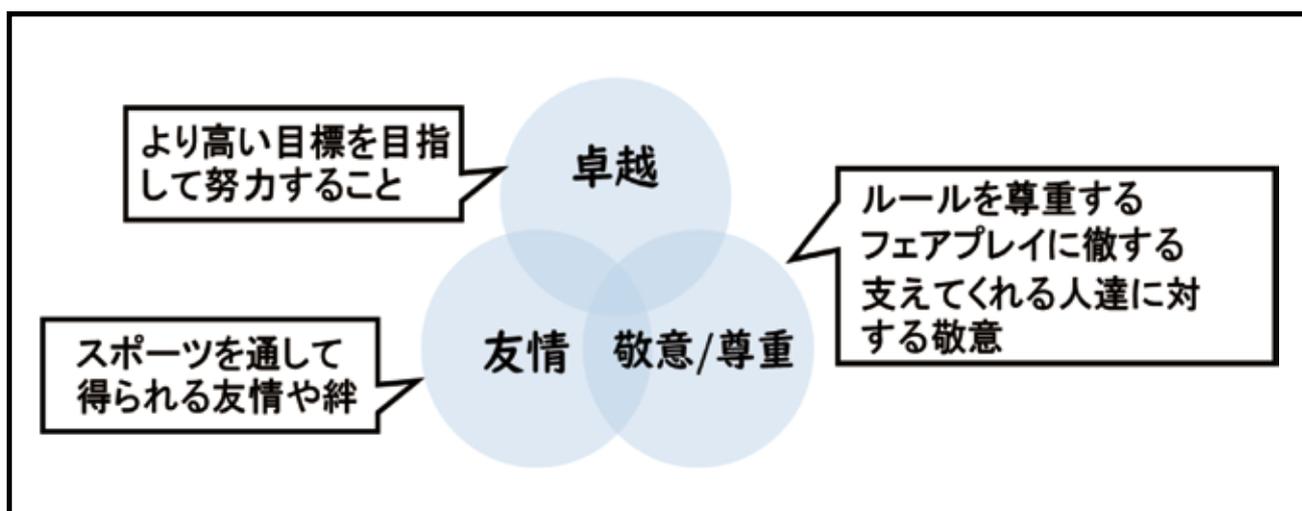
また、パラリンピックには、「勇気」「強い意志」「公平」「インスピレーション」等といった価値【※注釈2】があります。

このテーマは、スポーツを通して心身を向上させることや、努力を尊ぶ態度、友情やフェアプレイ精神を育むなどの学習が考えられます。



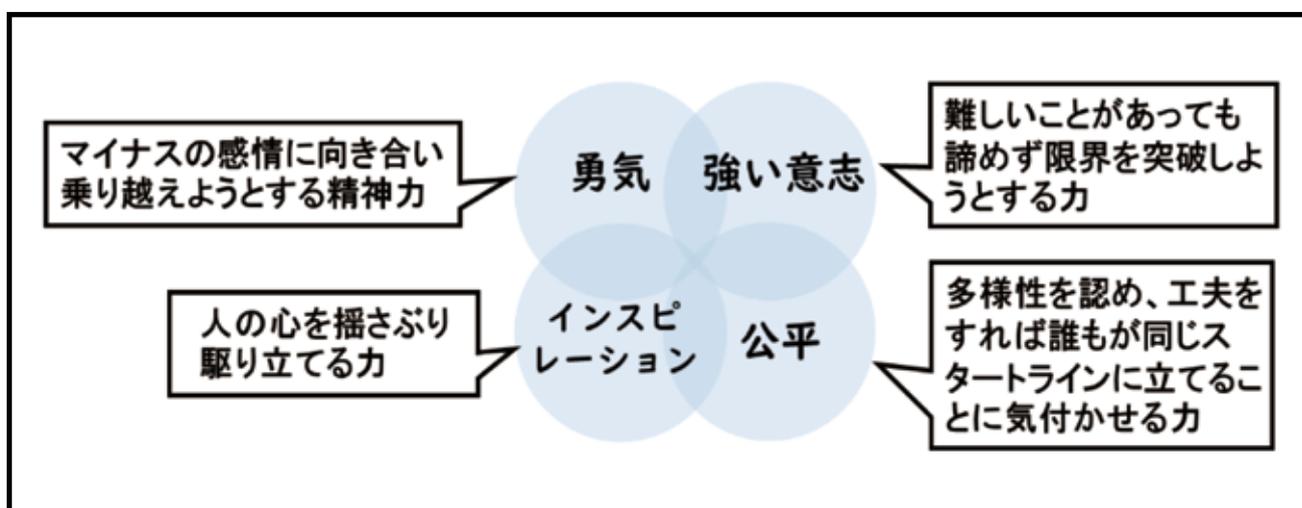
【※注釈1】

オリンピズムとは、近代オリンピックの創始者であるピエール・ド・クーベルタンが唱えたオリンピックの精神のことです。それは、スポーツによって心身ともに調和のとれた人間を育て、平和な社会を実現しようという考え方です。国際オリンピック委員会（以下 IOC）は、オリンピックの中心的な価値として次の3つを強調しています。



【※注釈2】

国際パラリンピック委員会（IPC）は、スポーツを通じ、障がいのある人にとってよりよい共生社会を実現することを理念とし、次の4つの価値を重視しています。



【Ⅱ】おもてなし精神・ボランティア精神について

相手の立場に立って、思いやりのある「おもてなし」ができる心や、支える側の「ボランティアマインド」等について学び、身に付けることをねらいます。

グローバルマナー等をテーマに、相手のことを考え多様な人々を尊重し関わる、「おもて」も「うら」もない「おもてなし」ができるようにする学習や、スポーツを支える人がいることを知り、ボランティア精神を醸成する学習等が考えられます。



【Ⅲ】パラリンピックや障がい者スポーツについて

障がいの有無等に関わらず、誰とでも公平に接し、共生していくことができる子供の育成に、パラリンピックや障がい者スポーツを通じた学びは有効です。

このテーマは、パラリンピックと出会うこと、障がい者スポーツを理解すること、その上で、体験する等して関心を高めていく学習等が考えられます。



【Ⅳ】 国際理解について

運動やスポーツは、文化や言語が違って、同じルールのもとで共に楽しむことができるものです。世界中の国々から様々な競技の人々が一堂に会して競い合う祭典「オリ・パラ」には世界平和の理念が含まれています。

運動やスポーツを通じた学びで、自国の文化や外国の文化の良さを理解し、互いに理解し認め合い、共生していく態度を育む学習等が考えられます。



【Ⅴ】 運動やスポーツを楽しむ心について

「オリ・パラ」を活用して、実際に体を動かしながら、その運動がもつ特有の面白さを十分に味わわせることで、今後も運動やスポーツに（する、見る、支える、知る等）関わり続けていこうとする態度を育みます。

このテーマは、実際に運動を経験し、楽しさを味わうことで、自分なりの関わり方で「オリ・パラ」に関わり、生涯を通じて運動やスポーツと関わり続けることができるようにする学習等が考えられます。



3 オリ・パラ教育で目指す子供の姿

推進校からは、オリ・パラ教育に取り組んだ成果として、次のような報告がされています。

- 多様性を尊重する態度を育成することができた。
- 主体的に体を動かそうとする意欲が向上した。
- 運動やスポーツに積極的に参画する態度が向上した。
- 公德心（マナー、フェアプレー精神、ボランティア精神、おもてなし精神等）を育成することができた。
- 優しさや思いやりの心を育むことができた。
- 努力を尊ぶ態度を育成することができた。
- ルールを尊重する態度を育成することができた。
- 他者の尊重や自己実現に対する意欲が向上した。



今まで、物事に限界というまで取り組んだことはありませんでしたが、努力した分喜びが大きいということが分かりました。

オリンピックやパラリンピックを早く見たいです。



ボッチャは本当に楽しかったです。スポーツが得意ではない人とも楽しく競い合うことができました。

先生方からも、「想像以上に子供が積極的に取り組む姿が見られて驚きました」という声が聞かれました。

4 オリ・パラ教育に取り組む教科領域等

オリ・パラ教育に取り組んだ推進校からは、主に以下のようなさまざまな教科領域等における実践の報告がされています。

体育科・保健体育科	特別の教科 道徳	総合的な学習(探究)の時間
ボール運動・球技系	希望と勇気・強い意志	「福祉」に関する学習
陸上運動系	向上心・個性の伸長	「国際理解」に関する学習
器械運動系	相互理解・寛容	
水泳運動系		
体育理論(中・高等学校)		

特別活動	その他の教科等	その他・教育課程外等
学校行事「文化祭」	理科	学校掲示
学校行事「クラスマッチ」	音楽科	宿題
学校行事「持久走大会」	図画工作科	全校朝会
児童会・生徒会活動		

【ポイント】

教科等横断的に関連付けると、より効果が高まる



例えば、道徳科「希望と勇気、強い意志」の教材にオリンピックやパラリンピアンを活用する際、事前学習として体育科（保健体育科）の同じ種目の学習と関連付けたり、事後学習として総合的な学習（探究）の時間でのパラリンピアンとの交流体験や特別活動の持久走大会等と関連付けたりするとさらに効果が高まります。

[実践編]

[実践事例 1]

1. 取組名

福祉「車いすバスケット」体験・観戦

2. 教科領域

○ 総合的な学習(探究)の時間

3. 取組の内容



- 従来行っていた福祉をテーマにした総合的な学習の時間に車いすバスケットボール体験を導入しました。
- 毎年北九州市で開催されている「国際車いすバスケットボール大会」を観戦しました。
- 事前に競技や国、選手のことなどを調べ、応援のための横断幕や旗などをつくりました。
- 事後に出場選手を招聘し体験活動をしました。

4. 主な成果

★見方が変わり、相手の気持ちに配慮した行動が増えた
(取組後の子供の感想)

- ・ すごい迫力があって車いすバスケットに興味をもちました。
- ・ 試合中、選手が倒れると相手の選手が助ける所がすごい。

[実践事例2]

オリ・パラの
教育的価値

おもてなし精神
ボランティア精神

障がい者
スポーツ

国際理解

スポーツを
楽しむ心

1. 取組名

福祉「ボッチャ」「ゴールボール」等体験

2. 教科領域

○ 総合的な学習(探究)の時間

3. 取組の内容

- [実践事例1]の車いすバスケットボール以外にも、ボッチャ、ゴールボール、ブラインドマラソン、ブラインドサッカー、デフサッカーなどの体験を行いました。
- 近隣の特別支援学校等とのボッチャを通じた交流会を行いました。



4. 主な成果

(取組後の子供の感想)

- ・ パラを見たいと思った。ボランティアで支えてみたい。
- ・ 交流会を通してオリ・パラに対して今までと異なる角度から見る力がつきました。

[実践事例3]

1. 取組名

「オリ」や「パラ」についての調べ活動

2. 教科領域

- 総合的な学習(探究)の時間

3. 取組の内容

- 自ら調べたいオリンピック・パラリンピアンを設定し、トップアスリートの生き方や考え方について調べ、友達や保護者に調べたことを発信しました。
- [実践事例1][実践事例2]の体験活動を位置付けました。



4. 主な成果

(取組後の子供の感想)

- ・オリ・パラのことが、よく分かった。調べて良かった。
- ・すごい努力をしている人や精神面が強い人が多くいました。自分も強い人になりたいと思いました。

[実践事例4]

オリ・パラの
教育的価値

おもてなし精神
ボランティア精神

障がい者
スポーツ

国際理解

スポーツを
楽しむ心

1. 取組名

体育「器械運動系」の授業に「オリ・パラ」

2. 教科領域

○ 体育科・保健体育科

3. 取組の内容

- 「■■■小跳び箱オリンピック」と単元を設定して、単元導入で体操の話題を取り上げて意欲を喚起し、単元終末は競技大会形式の発表会を位置付け、オリンピック競技大会風にしました。
- できた数だけメダルを獲得したり、五色のリストバンドを集めたり、リオコース・金メダルコースなどのネーミングを工夫するなどしました。



4. 主な成果

- ★器械運動のもつ楽しさを深く味わう子供の姿がみられた
(取組後の子供の感想)
- ・ 目標に向かって挑戦する気持ちが強くなりました。
- ・ これまで跳び箱運動は嫌だったけど好きになりました。

[実践事例5]

1. 取組名

体育「球技系」等の授業に「オリ・パラ」

2. 教科領域

○ 体育科・保健体育科

3. 取組の内容



- [実践事例4]器械運動領域以外にも、球技系、陸上運動系、水泳系など、単元導入に日本代表映像を視聴したり、風船バレーの教材化をしたり様々な工夫がありました。
- ■■中オリンピックサッカー大会を設定しました。サッカー大会は、生徒自ら運営等を行い、スポーツを「する」「見る」「支える」「知る」関わり方を経験しました。



4. 主な成果

- ★各運動のもつ特有の面白さを深く味わう子供の姿が見られた(取組後の子供の感想)
- ・初めて得点を決めることができました。とても嬉しかったし球技が好きになりました。もっとやってみたい。

[実践事例6]

オリ・パラの
教育的価値

おもてなし精神
ボランティア精神

障がい者
スポーツ

国際理解

スポーツを
楽しむ心

1. 取組名

体育「体育理論」の授業に「オリ・パラ」

2. 教科領域

○ 保健体育科

3. 取組の内容



- 中・高等学校保健体育科「体育理論」の学習において、スポーツへの多様な関わり方を見いだすことができるように、オリンピック競技大会を題材として取り上げました。



4. 主な成果

(取組後の子供の感想)

- ・ 私は今スポーツをしていないけど、興味がわきました。運動を始めてみたいと思いました。
- ・ 頑張ってプレイしている人を一生懸命に応援したい。

[実践事例7]

1. 取組名

■■■小(■■■中)オリンピック大会等

2. 教科領域

○ 特別活動

3. 取組の内容



- 「■■■小オリンピック集会」という集会活動を設定しました。担当委員会が学校独自のオリンピック種目を考えるなど、企画・運営を行い、スポーツを「支える」側面の経験をしました。
- 体育的行事「球技大会」では、「■■■中オリンピック大会」としたり、メダル獲得数でクラスで競い合ったりしました。

4. 主な成果

★フェアプレイの精神が身に付いた子供が増えた
★仲間と協力しチームワークを発揮することができた
(取組後の子供の感想)

・ 苦手だったけど、みんなでボールを繋ぎとても喜べた。

[実践事例8]

オリ・パラの
教育的価値

おもてなし精神
ボランティア精神

障がい者
スポーツ

国際理解

スポーツを
楽しむ心

1. 取組名

持久走大会(運動会)等に「オリ・パラ」

2. 教科領域

○ 特別活動「学校行事」

3. 取組の内容



- 例年開催している学校行事の駅伝・持久走大会に、学校ゆかりのオリンピックや活躍しているアスリートを招きました。
- 開会式でオリンピックの話を聞き、スターターをお願いしました。また、一緒に走ったり、応援したりしました。
- 大会後は、保護者や地域の方々も参加して、パラリンピアン講演会を開催しました。
- ★他にも運動会に聖火ランナー経験者やトーチを登場させる取組もありました。

4. 主な成果

★粘り強く取り組むことの大切さを理解することができた
(取組後の子供の感想)

- ・挑戦し続けるパラリンピアンのお話を聞き、一緒に走ることができて本当に良かった。貴重な経験ができた。

[実践事例9]

1. 取組名

オリンピック・パラリンピアンを教材に

2. 教科領域

○ 特別の教科道徳

3. 取組の内容

- トップアスリートの生き方や考え方から、様々な道徳的価値について考えました。
- 自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げることについて、シドニーオリンピック女子マラソン金メダリストの高橋尚子選手を教材として活用しました。
- 国際パラリンピック委員会公認教材I'mPOSSIBLEは活用しやすいので、保護者参観などでも公開しました。



4. 主な成果

★パラ競技のルール工夫から、思考力を発揮できた
(取組後の子供の感想)

- ・これからは途中で投げ出さないで最後まで頑張っていこうと思いました。

[実践事例 10]

オリ・パラの
教育的価値

おもてなし精神
ボランティア精神

障がい者
スポーツ

国際理解

スポーツを
楽しむ心

1. 取組名

理科の授業に「オリ・パラ」

2. 教科領域

○ 理科(他の教科等)

3. 取組の内容



○ 理科の授業で金メダルや銀メダルのつくり方について学習しました。理科の学習を、音楽科(楽器のつくり方)、社会科(ニュートンの錬金術)、道徳科(努力)など、様々な教科等と関連付けました。

※ 他にも、図画工作科・美術科で国旗を取り上げたり、音楽科で国歌を取り上げたりするなど、オリ・パラと関連付けました。

4. 主な成果

(取組後の子供の感想)

- ・ 理科室で金メダルがつかれるなんてびっくりしました。
- ・ オリ・パラがもっと楽しみになった。競技だけでなくメダルにも目を向けてみたい。

[実践事例 11]

1. 取組名

掲示・宿題・全校朝会に「オリ・パラ」

2. 教科領域

○ 特別活動＋教育課程外

3. 取組の内容



- 学校掲示板に、選手のエピソード紹介や、競技種目紹介、開幕までのカウントダウンをするなどしました。
- 全校集会や学級の朝の会等で関心が高まるようなトピックをとりあげました。
- 定期的なオリ・パラクイズを出題したり、正解者に手作りのカード等を渡したりしました。
- 長期休業中の宿題に取り組みました。

4. 主な成果

(取組後の子供の感想)

- ・ オリ・パラの会場に行って実際に見てみたいと思った。
- ・ 言葉の壁を越えて世界中の人が競い合うオリ・パラはすごいことだと思いました。

[その他の実践]

○アスリートの講演会



○アスリートとの交流



○国際交流



○すもう体験



○文化祭



○グローバルマナー学習



○卒業論文発表会



(取組後の子供の感想)

- ・ おもてなしの心を身に付けて感謝される人になりたい。
- ・ 英語が話せるようになってボランティアとして関わりたい。
- ・ 日本の良さについて外国の人に伝えることのできる人になりたい。

オリ・パラの
教育的価値

おもてなし精神
ボランティア精神

障がい者
スポーツ

国際理解

スポーツを
楽しむ心

[參考資料]

オリ・パラ教育参考資料

授業の教材として活用できます。HPよりダウンロードして使用もできます。



I'm POSSIBLE
国際パラリンピック委員会 (IPC) 公認教材



※各学校に配布済み



オリンピック・パラリンピックに関する
指導参考資料

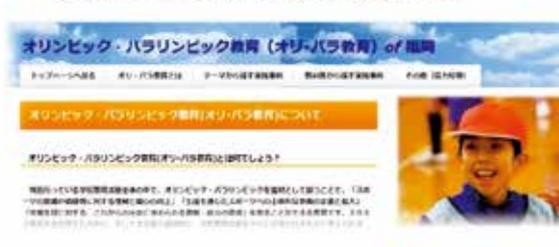
スポーツ庁
※各学校に配布済み

オリンピック・パラリンピック学習読本



東京都教育委員会
※組織委員会HPより
ダウンロード可

福岡県体育研究所HP



<http://www.taiikukenkyusho.ed.jp/newpage18.html>



本書以外にも、下記HPより、たくさんの実践事例等を見ることが出来ます。



The screenshot shows the homepage of the Japan Sports Agency. The header includes the logo and navigation menu. The main content area features a link to a page about Olympic and Paralympic Movement National Development Projects (Olympic Education).

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop08/list/detail/1407880.htm



The screenshot shows the homepage of the Centre for Olympic Research and Education (CORE) at Tsukuba University. The header includes the logo and navigation menu. The main content area features a link to a page about activities.

<http://core.taiiku.tsukuba.ac.jp/promotion-2>



The screenshot shows the homepage of the Waseda University Olympic and Paralympic Education Research Center. The header includes the logo and navigation menu. The main content area features a link to a page about education.

<https://www.waseda.jp/prj-w-olypara/>



The screenshot shows the homepage of the N-COPE (NSSU Center for Olympic and Paralympic Empowerment) at Nippon Sport Science University. The header includes the logo and navigation menu. The main content area features a link to a page about reports.

<https://www.nittai.ac.jp/ncope/reports/index.html>



福岡県推進校一覧 (H27 ~ R2)

平成27年度～令和2年度までの6年間に、福岡県推進校として御協力いただいた学校を紹介します。(※順不同)

【小学校】

宗像市立吉武小学校
岡垣町立戸切小学校
うきは市立山春小学校
大牟田市立天領小学校
田川市立田川小学校
豊前市立横武小学校
福岡市立草ヶ江小学校
北九州市立西小倉小学校
宗像市立赤間西小学校
宮若市立宮田西小学校
久留米市立大城小学校
みやま市立二川小学校
田川市立大浦小学校
みやこ町立黒田小学校
大野城市立御笠の森小学校
中間市立中間西小学校
朝倉市立秋月小学校
飯塚市立穎田小学校
築上町立築城小学校
糸島市立引津小学校
水巻町立頃末小学校
大刀洗町立大堰小学校
福智町立市場小学校
苅田町立白川小学校
春日市立天神山小学校
芦屋町立芦屋小学校
うきは市立福富小学校
大木町立大溝小学校
田川市立後藤寺小学校
上毛町立南吉富小学校

【中学校】

筑紫野市立筑紫野中学校
水町町立水巻南中学校
朝倉市立比良松中学校
八女市立上陽北浜学園
飯塚市立飯塚第一中学校
豊前市立角田中学校
福岡市立玄洋中学校
北九州市立思永中学校
糸島市立前原東中学校
直方市立直方第二中学校
小郡市立立石中学校
大川市立大川中学校
飯塚市立庄内中学校
みやこ町立犀川中学校
春日市立春日東中学校
鞍手町立鞍手中中学校
筑前町立夜須中学校
桂川町立桂川中学校
築上町立椎田中学校
小竹町立小竹中学校
久留米市立青陵中学校
八女市立南中学校
嘉麻市立嘉穂中学校
豊前市立千束中学校
福津市立福間中学校
中間市立中間中学校
飯塚市立二瀬中学校
県立嘉穂高等学校附属中学校
県立宗像中学校
県立育徳館中学校
県立門司学園中学校

【高等学校】

県立三潴高等学校
県立直方高等学校
県立玄界高等学校
県立北九州高等学校
県立早良高等学校
県立三井高等学校
県立新宮高等学校
県立玄洋高等学校
県立糸島高等学校
県立小倉西高等学校

【特別支援学校】

県立福岡特別支援学校
県立福岡視覚特別支援学校
県立福岡高等視覚特別支援学校
県立久留米聴覚特別支援学校
県立特別支援学校「福岡高等学園」
県立田主丸特別支援学校

オリンピック・パラリンピック教育実践事例集

令和3年3月

作成 オリンピック・パラリンピック教育推進
福岡県実行委員会事務局
(福岡県教育庁教育振興部体育スポーツ健康課内)
☎092-643-3923